

議会開会中

第3回定例会

主な議案のあらまし

令和元年第3回定例会は、9月4日から9月18日まで、15日間の日程で開催しました。

本定例会では、令和元年度補正予算、条例改正などの審議のほか、平成30年度各会計決算について市長から決算大綱説明が行われ、決算審査特別委員会で審査を行いました。また、市政について12人の議員が一般質問を行いました。

◎平成30年度各会計決算

決算審査特別委員会で慎重な審査を行い、各会計決算8件を本会議において認定しました。

決算額は、一般会計が歳入206億8、892万円に対し、歳出199億7、226万円で、差し引き7億1、666万円の剰余となりました。

国民健康保険特別会計は、歳入48億5、470万円に対し、歳出47億9、485万円で、差し引き5、985万円の剰余となりました。

公営住宅事業特別会計は、歳入9億5、759万円に対し、歳出9億148万円で、差し引き5、611万円の剰余、介護保険特別会計は、保険事業勘定で、歳入40億2、872万円に対し、歳出38億3、986万円で、差し引き1億8、886万円の剰余、介護サービス事業勘定で、歳入8、974万円に対し、歳出6、772万円で、差し引き2、202万円の剰余、後期高齢者医療特別会計は、歳入6億1、484万円に対し、歳出6億1、376万円で、差し引き108万円の剰余が生じました。

また、土地区画整理事業特別会計は、歳入1億1、728万円に対し、歳出1億1、728万円で歳入歳出同額となりました。

下水道事業会計の収益的収支は、

事業収益12億9、147万円に対し、事業費用12億1、234万円で、7、912万円の純利益、資本的収支は、収入7億7、952万円に対し、支出12億6、901万円で、差し引き不足額4億8、949万円となり、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

病院事業会計の収益的収支は、事業収益66億3、502万円に対し、事業費用は67億5、278万円で、1億1、766万円の純損失、資本的収支は、収入9、300円に対し、支出5億4、824万円で、差し引き不足額4億5、524万円となり、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金、減債積立金で補てんしました。

◎令和元年度補正予算

一般会計は、補正予算第3号により1億3、502万6千円を増額補正し、210億2、372万7千円となりました。

補正予算に計上された主な事業費等は、10月から開始される幼児

教育・保育無償化の対応に係る費用として、保育所の運営管理に要する経費784万円およびその他教育振興に要する経費3、541万3千円、旧中央バスターミナルに「たきかわ観光国際スクエア」を開設するための経費733万9千円、農林水産省の補助金を受けて行う強い農業・担い手づくり総合支援交付金推進事業助成金および農業用



▲助成金を活用した農業用ハウス

ハウス強化緊急対策事業助成金を交付するための経費589万6千円、新たに防災重点ため池の指定を受けた「江部乙第3号貯水池」のハザードマップ作成のための経費359万7千円、制度改正により多面的機能を発揮する活動を追加する場合の交付金の加算措置等に伴う多面的機能支払交付金を交付するための経費597万6千円、一般社団法人地域循環共生社会連携協会の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を受けて